

# 社会への取り組み

## すべての人々の人権の尊重

マブチモーターは、経営基軸の中で「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」、行動指針の中で「他人に対し公平、公正であり、他の社員への協力と支援を惜しまない」と掲げており、海外拠点も含め、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが健康で安心して活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

また当社は、2021年より「国連グローバル・コンパクト」に加盟しています。国連が提唱する人権、労働、環境及び腐敗防止の4分野で企業が順守すべき普遍的原則「グローバル・コンパクト」の支持を宣言し、各分野で取り組みを推進しています。



## マブチモーター人権方針

人権尊重の取り組みをグループ全体で更に推進し、その責務を果たしていくための指針として、「マブチモーター人権方針」を制定しています。

当社は、「マブチモーター人権方針」に基づき、自らの事業活動において影響を受けるすべての人々の基本的人権と多様な価値観、個性、プライバシーを尊重し、人種、宗教、性別、国籍、身体障がい、年齢等に関する差別的言動、暴力行為、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、いじめ等の人格を無視した行為を認めません。また、奴隷や人身取引を含めたすべての強制労働、児童労働を認めません。

### 重要と考える人権課題

以下の人権課題が特に重要であると考え、取り組んでいます。

- 強制労働、児童労働の禁止
- 差別と非人道的な扱いの禁止
- 適切な労働条件の確保
- 結社の自由と団体交渉権の尊重

## 人権デューデリジェンス

当社は、「国連のビジネスと人権に関する指導原則」に従い、人権尊重の責任を果たすため、人権デューデリジェンスの仕組みを構築し、これを継続的に実施します。

### 1. 人権リスクの評価(アセスメント)

マブチモーターのサプライチェーンにおける人権リスクを明確にするために、人権に関する国際的な規範を参考に当社及び当社のお取引先様の人権リスクアセスメントを実施しました。

- 実施時期：2023年11月～2024年1月
- 対象範囲：当社及び当社のお取引先様
- 実施内容：各種人権課題関連項目に対する法律把握や体制整備の状況の自己評価をもとに発生可能性を推定し、人権課題それぞれの深刻性と照らし、リスク緩和の取り組み優先度の高い事項を把握

### 2. リスク緩和の取り組み(アセスメント結果含む)

アセスメントの結果、お取引先様における「救済へアクセスする権利」についてリスク緩和の取り組みを優先的に行う必要があるとの認識に至りました。人権リスクの早期発見及び適切な対応を実現するには報告・相談体制が大きな役割を果たします。お取引先様のより詳細な状況把握を進め、特にリスクが高いと判断されるケースにおいては早期の改善を要請するなど対応を行ってまいります。

### 3. モニタリング

今後も定期的に実態調査をし、当社の事業活動による人権課題発生有無の把握に努めてまいります。

### 4. 情報公開

今後も当社の人権に係る活動は当社ホームページ及び統合報告書などで公開してまいります。

## 救済・是正の仕組み

当社は、当社の事業活動を通じて人権への負の影響を引き起こした、もしくは助長したことが明らかになった場合は、適切な手続きを通してこれに対処します。また、人権を含むコンプライアンスに関する通報・相談を受け付ける「倫理規範ホットライン」を設置しています。「倫理規範ホットライン」は匿名性、秘匿性が保たれており、当社社員のみならず、お取引先様の一部までを対象範囲としています。

## 責任ある調達

### CSR 調達ガイドライン

製品・サービスが生み出されるサプライチェーン全体に対する、お客様の関心が年々高まっています。そこで当社は、お取引先様とCSRに関して共通の認識を持ち、協調して取り組んでいくことが必要と考え、「マブチモーターCSR調達ガイドライン」を制定しています。日本語・英語・中国語に対応し、すべてのお取引先様に広く周知することで、サプライチェーン全体で労働安全や人権尊重などの取り組みを促しています。

### 責任ある鉱物調達の推進

紛争地域及び高リスク地域における深刻な人権侵害、環境破壊、汚職、紛争をはじめとする、経済協力開発機構(OECD)の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・デリジェンス・ガイダンス付属書II」(以下、OECDガイダンス付属書II)で規定しているリスクに関わる鉱物(錫、タンタル、タングステン、金)やコバルト、雲母等の鉱物を含んだ部品・材料の調達は行いません。

また当社は、随時実施するRMI(Responsible Minerals Initiative)が提供するConflict Minerals Reporting Template(CMRT:紛争鉱物報告書)などの国際的に認められたツールを活用した、鉱物の原産国や製錬業者の特定等のサプライチェーンに関する調査に協力します。万一、紛争への加担や重大な人権侵害に関与する鉱物が見つかった場合には、是正を行います。

当社は、人道的な観点から、人権侵害を行う集団を利用することのない鉱物の調達を引き続き行うべく、お取引先様との連携を深め、サプライチェーンの透明性向上を一層図ってまいります。

## 安全衛生・健康経営

当社は、経営基軸の中で「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」と定めており、「社員の健康と安全の確保」をマテリアリティの一つとして位置付け、労働災害の防止対策やオフィス・工場における労働環境の整備に取り組んでいます。

### 心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康でいきいきと働くことは、社会生活の基礎であり、企業の活力向上にもつながると考え、「マブチモーター健康経営宣言」を制定し、社員の健康保持・増進に資する取り組みを推進しています。

本社では、20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や様々な健康講座の開催をしています。また、社員の生活習慣病の予防・改善を目的として、心身ともに十分な休養をとること、食事の量や栄養バランスの整ったメニューで食生活を改善すること等を促し、社員の健康増進を目的とした取り組みを行っています。



### マブチモーター健康経営宣言

マブチモーター株式会社は、経営基軸の一つに「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを掲げています。これは、企業活動において、環境汚染やそれに伴う健康被害が生じないよう最大限配慮を行うことだけでなく、最も重要な経営資源である「人(社員)」が健康な状態にあることも意図しています。社員がその能力を最大限に発揮するためには、社員一人ひとりが「健康」であることが不可欠となりますので、当社は社員の健康保持・増進を積極的に図り、健康と安全が保たれた快適な職場環境の実現を目指します。

健康経営の推進体制と主要KPIは[当社ホームページ\(安全衛生・健康経営\)](#)に記載しております。

# 社会への取り組み

## 社会貢献・教育支援活動

当社は、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実践すべく、地域社会・国際社会への支援活動を行い、広く社会の発展に貢献しています。中でも、未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長を支援できる活動に力を入れています。また、地域に根ざした環境保護、社会福祉活動などを継続的に実施しています。

### 工作教室・出前教室

当社は、創業者である馬淵健一が「これからの日本をつくるには、科学教育を盛んにしなければならない」と、学校教材用のスクーモーターをつくった当時の想いを受け継ぎ、教育支援活動に継続して取り組んでいます。

2024年から2030年までを対象期間とするサステナビリティ目標では、「工作教室・出前授業などの参加者数」をKPIとして「次世代を担う子どもたちが科学への関心を深める機会の提供」に取り組むことを決めました。目標達成に向けて、本社だけでなく海外拠点も含むグループ全体に活動範囲を広げ、取り組みを推進していきます。

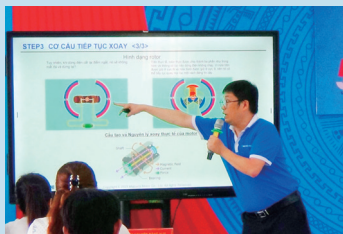
#### 国内外でモーター教室を開催

本社は、2008年より、本社所在地である松戸市の小学年生を対象とした「夏休みモーター工作教室」を開催しています。コロナ禍の影響で2020年はやむなく中止しましたが、2021年以降はオンライン形式へと形を変え、毎年活動を継続しています。2023年は、過去最高となる440組以上の皆様にご参加いただきました。

海外拠点における開催事例も続々と増えており、2023年にはダナンマブチで小学生を対象とした「モーター授業・工作教室」を開催しました。当日は、ダナンのNGUYEN VAN TROI小学校の4年生44名と教師が参加し、在ダナン日本国総領事館領事なども出席されました。参加した小学生や教師からは「モーターの仕組みについて勉強になり楽しかった」「この活動を参考に学校の科学の授業内容を検討したい」といった声が聞かれ、地域の皆様に喜んでいただけた取り組みとなりました。



本社が開催したオンラインの工作教室



ダナンマブチが開催した工作教室



松戸市内の小学校で実施された出前教室

### 様々な協賛活動

#### 継続的なロボコン支援

未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与することを願い、2002年より「高専ロボコン」、「ABU ロボコン」、2004年より「学生ロボコン」に協賛し、大会運営支援やモーターの提供等を継続して行っています。また、モーターの知識をより良いものづくりに活かしてほしいという思いから、大会会場での当社モーター展示や技術系社員による解説をはじめ、ロボコンを通じた若きエンジニアの育成支援に取り組んでいます。

#### 女性活躍推進に向けた「高専GCON2023」

2023年には、第2回高専GIRLS SDGs × Technology Contest(高専GCON2023)に初めて協賛しました。高専GCONは、全国の高等専門学校的女子学生を中心としたチームで、日頃行っている研究や学習がSDGs観点から様々な社会課題に対してどのように貢献できるか考えることにより、未来の研究者・技術者としての成長を促すことを目的としています。今後も様々な協賛活動を通して、女性が活躍できる社会実現と、科学とものづくりに関心を持つ子どもたちの育成を支援いたします。

